

1 いじめ問題解決に向けた私たちの取組名

「みんなでつくろう えがおいっぱいの日野小学校」

合い言葉は



2 「いじめ撲滅宣言」とのかかわり

日野小学校では「私たちは、いじめをしない、させない、許さない」のいじめをしない宣言のもと、『私たちは学年、学校をこえて交流を盛んにし、思いやりの心を育てます。』を重点項目に掲げて取り組んできました。校内では、縦割り班で行う花の学び舎づくり、人権週間における各取組、学校行事等で、学年を超えて協力し助け合う意識を高めてきました。これらの異学年での交流を通して、お互いを深く理解し合い、教師・児童がだれとでも気軽に声を掛け合って「笑顔あふれるあったかい日野小学校」にしていくことが「いじめ0」への一番の近道と考えています。

3 共通の取組

① スマイルハイタッチあいさつ運動

月曜日の下校時、児童会が決めた学年の児童と教員が校門前に立ち、ハイタッチをしながら帰っています。3学期は、『西中サミット』や『いじめ問題解決に向けた子ども会議』を受けて、週に一回、朝ハイタッチあいさつ運動の時間を設けました。楽しくあいさつ・交流することを目標に、児童会児童が呼びかけ、それぞれの子どもが作ったスマイルカードを手に持って行いました。



② 「HAPPYはあとふるツリー運動」

前期人権学習週間と後期人権学習週間を利用して、「HAPPYはあとふるツリー運動」に取り組みました。友達のよいところや、してもらって嬉しかったことを見つけたら、花のカードに書いて貼りました。後期人権学習週間では、高齢者や障害者に対してどのように接したら良いかを考えてカードに書く活動を行い、児童一人一人が自分にできそうなことを考えるきっかけになりました。



4 私たちの取組

(1) 縦割り活動の取組

本校の縦割り班は2つに分かれていて、年間を通してたくさんの活動があります。毎日の清掃活動をはじめ、業前活動、花の学び舎活動等、一年を通して異学年交流が盛んに行われています。

① 運動会

団対抗の運動会は、日野小学校で盛り上がる行事の一つです。団長が中心となって異学年の子ども達をまとめていきます。団対抗リレーや応援合戦など、体育の時間だけでなく、休み時間にも団ごとに集まって練習をします。練習を重ねるたびに、勝利を目指して団の気持ちが一つになっていきます。運動会を経験することにより、高学年のリーダーとしての意識や行動力に成長が見られ、その後の活動に活かされています。



② 花の学び舎

サルビアの定植やパンジーの定植を団に分かれて行いました。花の水やりも各団で分担し、高学年が低学年に声をかけながら協力し合っていました。今年もたくさんの花々が校舎を彩り、花いっぱいの日野小学校になりました。それぞれの活動で児童同士の教え合いや助け合いが自然にできしており、よりよい関係づくりにもつながっています。



③ 長なわとび大会

団で競い合う最後の大会です。団結力が一段と高まりました。両団とも記録更新を目指して休み時間も練習に励みました。高学年が、「声を出そう」「ドンマイ」「縄の真ん中で跳ぼう」などの声をかけ、助け合いや教え合いが自然にできていました。失敗しても相手を傷ついたり嫌な思いをさせたりしないことを心がけて練習に励み、素晴らしい大会になりました。



④ 他校との交流

日野小学校児童にとって他校との交流は、様々な考えにふれることのできる貴重な時間です。平井小学校とは、バス旅行や修学旅行等の行事をはじめとして、体育や道徳、国語などの授業でも交流を行いました。美九里西小学校とは、昨年同様合同持久走大会が行われ、最後まで諦めずに頑張る互いの姿を讃え合いました。今年度は美土里小とも英語の学習等で交流をすることができました。

(2) 児童会活動

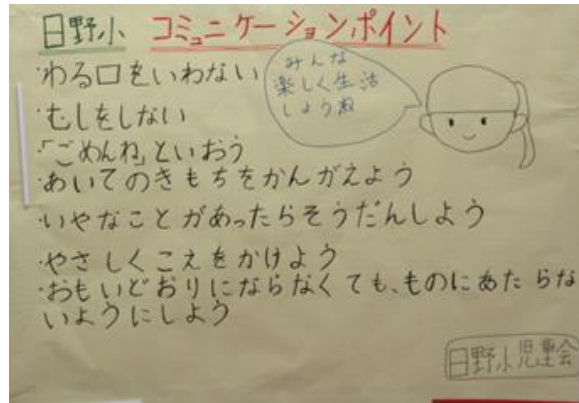
① あいさつカード

もっとあいさつが元気にできる学校を目指して、1学期は「あいさつカード」を使ったあいさつ運動に取り組みました。期間は3週間です。大きな声であいさつができることを目標にがんばり、できた日は絵に色を塗りました。毎日色を塗ることができた人には、児童会からあいさつマスターのメダルが渡されました。



②日野小コミュニケーションポイント

友達の言動によって、遊びや授業中の雰囲気が良くない方へ変わってしまうことがあるという児童の声を受け、児童会メンバーで相談し、3～6年生で集まって話し合うことになりました。議題は、「みんなが過ごしやすくするためには」です。話し合いの内容をまとめたものが、「日野小コミュニケーションポイント」です。みんなが意識して生活できるよう、給食当番の児童が通る職員室前廊下に掲示し、集会等でポイントの確認を行いました。



③ふわふわ言葉大作戦

みんなが楽しく、気持ちよく過ごすことができるように、保健体育委員会の児童が中心となって、友達に言われて嬉しかった言葉をカードに書いてボードに貼る活動を行いました。たくさんのふわふわ言葉が集まり、ボードがハートのカードでいっぱいになりました。



5 取組のまとめ

(1) 取組の成果

今年度は、あいさつを活発にしたいという児童の願いがあり、あいさつに関する活動を工夫して行ってきました。「あいさつカード」「ハイタッチあいさつ運動」「スマイルカードを使ってのハイタッチあいさつ運動」と、1年間継続してあいさつに対する意識を高めることができました。気持ちの良いあいさつが交わされることが多くなり、地域の方からお褒めの言葉をいただくことができました。年2回行われている人権学習週間では、友達のよいところに気づき、いじめはいけないことや、いろいろな立場の人と助け合っていくことの大切さ等を学びました。取り組みを進めていく中で、人との接し方に変化の現れた児童も見られました。掃除や給食当番といった活動においても、高学年児童が下学年児童を思いやりながら仲良く活動する姿が見られ、思いやりの心が育っていることを感じます。

(2) 今後の課題

一つ目は、児童が主体的に活動する場の設定です。児童数が少なく個々の児童の役割が多いこともあり、教師が主導になってしまう面が否めません。なるべく児童主体の活動になるよう、今後も工夫が必要です。また、地域の方や他校とどう交流していくかのコーディネートを教師がうまく行い、児童に自信や行動力をつけさせていくことも大切です。

課題の二つ目は、お互いが遠慮せずに言いたいことを言えるような関係性づくりを行うことです。少人数でいつも一緒に過ごしていることから、言いたいことが言える間柄かというところでもありません。縦割り活動で相談するときなど、もっとざっくばらんに話せば交流が深まるのと思う場面を見ることが度々ありました。異学年での話し合いの場をたくさん設け、活発な交流を行うことで、より過ごしやすい環境づくりを目指していきます。

日野小学校が、どの児童にとっても居心地がよく、一人一人が輝ける場であるよう、今後も少人数のよさを生かした支援や活動の工夫を行っていきたいと思います。

いじめ問題解決に向けた年間の取組

藤岡市立日野小学校

月	学校の取組	中学校区での取組
4月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査)	・年度始めによる児童生徒や家庭への生活のきまりの確認
5月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・あいさつカードの取り組み	・小中でのあいさつ運動
6月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・縦割り活動(遊び、サルビア苗定植) ・いじめに関する道徳の授業の実施 ・前期人権週間 ・アクション3+の啓発	・小中でのあいさつ運動 ・HAPPYはあとふるツリー(前期人権週間)
7月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・縦割り活動(花の水やり) ・日野小コミュニケーションポイントの啓発と掲示	・小中でのあいさつ運動 ・長期休業に向けて生活のきまりの指導の徹底
8月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査)	・西小中一貫子どもサミット開催
9月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・縦割り活動(花の水やり) ・縦割り活動(運動会練習) ・ふわふわ言葉大作戦	・小中でのあいさつ運動
10月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・縦割り活動(花の水やり) ・いじめ防止フォーラム開催 全校集会にて内容を伝達 ・三者面談	・小中でのあいさつ運動
11月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・後期人権週間 ・人権週間の振り返りと学校をよりよくするための話し合い ・縦割り活動(さつま芋掘り・焼き芋集会)	・小中でのあいさつ運動 ・HAPPYはあとふるツリー(後期人権週間)
12月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・縦割り活動(遊び、パンジー苗定植)	・小中でのあいさつ運動 ・長期休業に向けて生活のきまりの指導の徹底
1月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・縦割り活動(長縄練習) ・いじめ問題解決に向けた子ども会議開催 ・スマイルハイタッチあいさつ運動(スマイルカードを利用)	・小中でのあいさつ運動 ・中学校入学説明会
2月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・全校集会にて子ども会議の内容の伝達	・小中でのあいさつ運動
3月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査)	・小中でのあいさつ運動 ・中学生による母校訪問 ・長期休業に向けて生活のきまりの指導の徹底